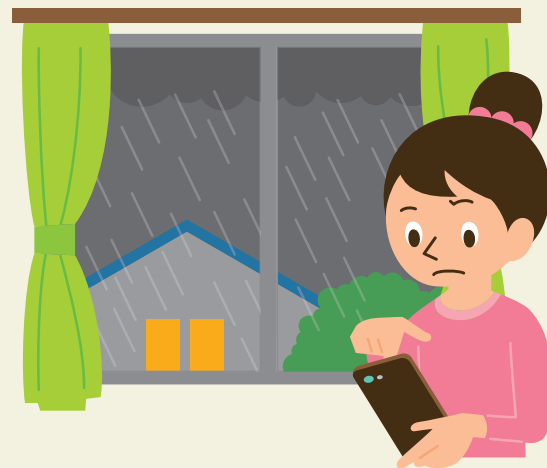


災害時の 情報収集の方法

災害の危険が迫ったとき、災害が起こったとき
まずは災害の正確な情報を
集めることが大切です。



TV/ラジオ (NHK)

台風、大雨などの場合は、最新の気象情報を入手し、市町村が発令する「避難指示」「避難勧告」に注意します。



主なWEBサイト (パソコン・スマホ対応)

●気象庁 防災情報



<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

●国土交通省 防災情報提供センター



<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho>

主なスマートフォンアプリ

もしものためにインストールしておきましょう。



●Yahoo!防災速報
登録した地域の災害・気象情報をお知らせ。



●NHKニュース・防災
ニュース・天気・災害まで幅広く対応。



●ゆれくるコール
地震を事前に通知する緊急地震速報アプリ。



●goo防災アプリ
防災マップ、災害に関する情報。



●防災情報全国避難所ガイド
自治体が定めた避難所を検索。ルート案内も。



●radiko (ラジオ)
災害時の情報収集に役立つラジオアプリ。



弊社は「地域防災ステーション」として災害発生時に備え、地域の皆様と一緒に防災力を高めるために「まもりとそなえ」をお配りしています。ぜひお手元に保管して、ご家族や近隣の皆様とご覧ください。



住まいに関するお悩みや
リフォーム全般、耐震診断まで
お気軽にご相談ください。



株式会社 小野建築

〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 657-3

☎ 0120-968-175

家族と暮らしを守る

まもりとそなえ



防犯・防災の基礎知識&対策

火山災害について

安心・安全な住まいづくりのヒント

防災アイデア・火山対策アイテム

防災アクション

「防災マップ」をつくろう

災害からの避難施設には「指定緊急避難場所」と「指定避難所」があります。違いを事前に確認しておきます。

ルートを歩いてみたら、避難場所の位置や危険箇所を記載した「わが家の防災マップ」を作ってみましょう。



避難場所までのルートをみんなで歩いてみようね。

災害の種類によって避難場所の指定が違ったりするよ。

マップ作成上の チェックポイント

- 危険物・危険箇所 かけ・斜面、ブロック塀、狭い場所、看板、自販機など
- 防災設備 消火栓、防火水槽、公衆トイレ、AED設置、広場など

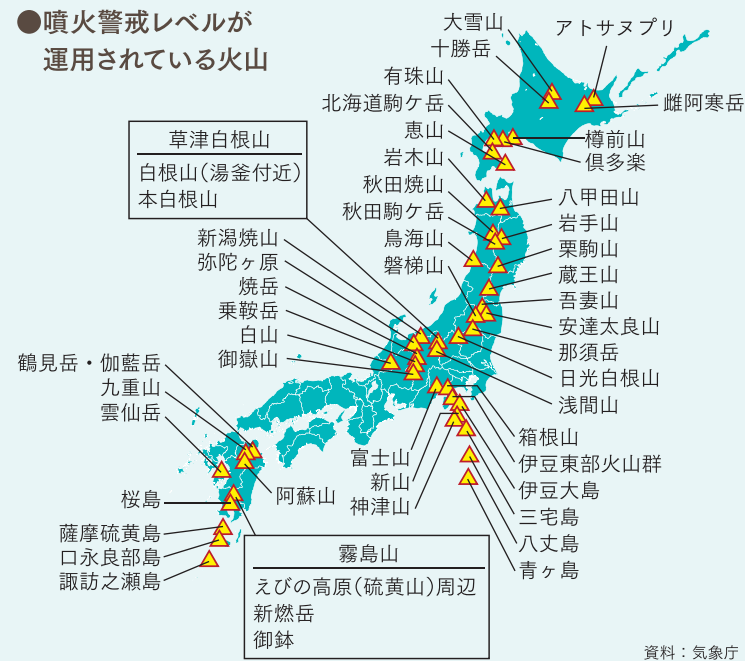


01 知っておきたい！ 防犯・防災の基礎知識&対策

火山災害について

日本には世界の7%を占める111の活火山があり、世界でも有数の火山国です。火山噴火は、噴石、火砕流、溶岩流、火山灰、火山ガスなど時として大きな災害をもたらします。右図のように111活火山*のうち、常時観測されている火山は、約50火山もあります。まずは、身近にある活火山を知り、防災対策につなげましょう。

※活火山とは「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」です。



火山災害から身を守る対策

●ハザードマップ(火山防災マップ)をチェック

ハザードマップを見ることで住んでいる場所の危険度をあらかじめ予測することが可能です。ハザードマップでは、過去のデータ分析から将来の噴火の特徴も予測して危険な可能性のあるエリアを表示しています。

▶火山ハザードマップ データベース
<http://vivaweb2.bosai.go.jp/v-hazard/>
火山ハザードマップ 検索

●噴火警報・噴火警戒レベルに注意

気象庁は、周辺に危険をおよぼすような噴火が予想される場合には、「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民が「とるべき防災対応」を5段階に区分して「噴火警戒レベル」を発表しています。

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難
			レベル4 避難準備
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制
		火口周辺	レベル2 火口周辺規制
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることを留意

火山灰への備え

降灰前

- ✓ マスクやゴーグルなどの備えの確認。
- ✓ 湿ったタオルをドアの隙間や通気口に置く。隙間風が入る窓などにテープを貼る。
- ✓ 壊れやすい電化製品にカバーを付ける。ラップでくるむことも。
- ✓ 下水が詰まらないよう、雨どいや排水管を排水溝から外す。



降灰中

- ✓ 屋内に入る。(1mm以上の灰で外出を控える)
- ✓ 車の運転を控える。(1mm以上で0.1~1mmでは徐行)
- ✓ 角膜が傷つく場合があるのでコンタクトレンズを外す。
- ✓ 水に火山灰が入ったら、沈殿してから上澄みを使う。たいていは飲んでも健康に悪影響はない。

02 安心・安全な住まいづくりのヒント

トイレのリフォーム

省エネや消臭などの機能はもちろん、デザインにもこだわってステキなトイレ空間にリフォームしましょう。

【タイプ別・おすすめトイレ&トイレ空間】

●ベーシックなタンク式



好みのウォシュレットが選べる組み合わせ便器。

ビューアレストQR TOTO

●シンプルな便座一体型(タンク式)



ローシルエット、シンプルなタンク式。

GG TOTO

GG-800 TOTO

●収納・手洗い一体型



交換するだけでトイレ空間がすっきり。

リフォレ LIXIL

●コンパクトなタンクレス



トイレの給排水を利用するので便器を交換するだけで手洗い器付のトイレに。

サティス Gタイプ リトイレ LIXIL

最近のトイレの進化ってすごいんだよ。



選ぶポイント

【節水・節電】

従来は13ℓ必要とした洗浄水も6ℓ以下に。節電機能も商品ごとに異なるのでしっかりチェック。

【清掃性】

形状や素材、洗浄方法の工夫でお掃除しやすさが格段に向上。

【清潔性】

便器の鉢内やノズルの清潔だけでなく、空間まで除菌・消臭するタイプも登場。

【快適性】

フタが自動で開閉したり、使用後は自動で洗浄するなどの機能が充実。

03 防災アイデア

火山灰から身を守るための準備が大切。



噴火対策アイテム

非常持ち出し品と一緒に備えておきましょう。

●ヘルメット

ヘルメットを用意します。折りたたみ式なら場所もとりません。



●防塵マスク

一般的なマスクでなく防塵マスクを用意。



●手袋

軍手ではなく、熱に強い革やパラ系アラミド繊維のものを着用。



●長袖の上着・レインコート

火山灰から身体を守ります。



●防塵ゴーグル

火山灰対策用で強度のあるものがおすすめ。



●携行品カバー

電子機器はラップやジップロックで保護。バッグもビニール袋でカバーを。

